

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年 12月 12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493200079		
法人名	社会福祉法人 みどり会		
事業所名	グループホーム 府中みどり園		
所在地	安芸郡府中町浜田1丁目6番7号 (電話) 082-281-6700		
自己評価作成日	令和元年11月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3493200079-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年11月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

理念を基に、入居者様一人ひとりがその人らしい生活を送って頂ける関わりを持っている。その一つとして、午前中に入居者様とスタッフが地域のスーパーへ食材の買物へ出かけ、食事作りも一緒に行っている。買い物以外の外出もあり、ご自宅や、喫茶店、地域の行事などにお連れしている。地域との繋がりは以前から大切にしており、府中町のグループホーム4施設にて、府中町グループホーム連絡会を運営しており、地域活動として、認知症カフェを毎月開催している。一昨年から行っている100歳体操をメインとした地域交流も継続して行っている。更に昨年度の3月から100歳体操と一緒に地域の方、子ども達、ボランティアさんが一緒になって料理を作って食べるという取り組みにも参加している。家族様には、毎月グループホーム通信を配布し、生活の様子を発信している。家族様との交流行事は年2回実施。毎年行っている周年記念祭では、1年間の思い出映画上映をし、入居者様・家族様・スタッフが1年間の振り返りの場となっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

理念に基づいた日々の実践があり「もし自分だったらノート」という独自様式にて職員それぞれに目標をたて実践に努めている。地域交流も大事にし盛んに行っている。認知症カフェの開催、町内で結成の府中町グループホーム連絡会での活動で100歳体操や地域の方、子ども達、ボランティアが一緒になって料理を作って食べる「つる縁キッチン」という地域食堂の開催など多くの取り組みにて地域と身近になっている。又、地域と防災協定を結び避難場所にもなっている。各種委員会活動も活発で、トイレ委員会で『すっきりまつり』という排泄も気持ちもスッキリできるように企画し、食事面からアプローチをするなど発想豊かな独自の取り組みがある。毎日の食事を利用者と共に買い物や料理を行う日常生活、希望の外出支援、趣味の継続など利用者個々に目を向けた取り組みにて利用者本位の支援を実現している。

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の中にある「その人の歴史」という所で、地域との繋がりを継続したり、理念自体を常に念頭に置き、スタッフ皆が協力して、自宅と同じような生活が送れる様にしている。	毎年、事業所全体で理念の研修を行い、ユニット毎に年間目標を作成し年度末に評価している。毎日の目標も作成し実践している。昨年度より「もしも自分だったらノート」という5つの生活項目を自分が入所したらという視点で考え、自分と同じように入居者にも希望があることに着目し、個々の振り返りや理念の実践に繋がるツールがある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自施設が開催しているカフェや、近くの小学校前での挨拶運動への参加の他、グループホーム連絡会の行事・日々の買物・鶴江百歳体操や鶴縁キッチン等を通じて、日常的に交流をしている。	町内会に加入し、利用者は、「挨拶運動」の参加、とんどや運動会の見学で住民との交流がある。府中町グループホーム連絡会に参加し、毎月、認知症カフェを開催している。町内会と連絡協議会との合同活動である「100歳体操」・地域食堂の『つる縁キッチン』に協力し地域と深い関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	「茶のみ処椿」を始め、地域住民も参加できるカフェや、勉強会などを開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回のペースで、同建物の特養と一緒に開催しているが、担当者以外のスタッフに内容の伝達などがあまり出来ていないのが現状。	併設の特別養護老人ホームと合同にて実施している。運営状況のほかに日頃の様子が伝わりやすいようにパワーポイントで写真を載せ、生き活きた利用者の様子や日々の活動が分かる内容にて周知、共有を行っており、各参加者と活発な意見交換がなされている。	運営推進会議では、事業所の運営状況として『事故・ヒヤリハットや苦情』が報告されているが、家族が閲覧できる「会議議事録」に記載されていない。今後は、「会議議事録」に運営状況も記載して、運営推進会議に出席していない家族にも事業所の運営状況がわかるようにすることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	グループホームの管理者が主となって取り組んでいる。	運営推進会議に介護保険課や地域包括支援センターの参加が毎回あり定期的に意見交換を行うことができています。「認知症ステップアップ講座」の依頼があり実施した例がある。町や社協が企画した行事に、府中町グループホーム連絡会を通してブースの参加を行うなど協力している。	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については、施設内研修などでスタッフに周知している。内容としては、日中、玄関の鍵は開けた状態にしていたり、居室に鍵を掛けない(鍵に介護をさせない)という考えのもと、1人1人に合わせた関わりを持つようにしている。</p>	<p>日中の玄関施錠は行わず、エレベーターも自由に利用できる。利用者個人の様子を把握し丁寧に対応することが、身体拘束予防に繋がっている。事業所全体で年1回の研修と入社時研修を行い、事業所として認知症ケア勉強会を行って、身体拘束防止の理解を深めている。「身体拘束廃止委員会」を毎月、開催している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>不適切なケアが行われていないか、園内研修などを通じて自分の関わりの振り返りを行ったりしている。また、もし不適切なケア等があった場合は、リーダー等が個人に面談をし、防止するように努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>園内研修自体がなく、スタッフが学ぶ機会がない為、内容をしっかりと理解できていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者とユニットリーダーが、家族様と契約をさせて頂いている。その時に家族様からの質問等があった場合にはその都度お答えしている。その時に答えられない内容があった場合は、後日お答えできるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設内にご意見箱を設置しているが、実際に意見を書いて下さる家族様はおられない。ご意見等は、半年に1度のケアカンファレンス実施時だったり、面会に来られた時にスタッフとの話をしている時等にお聞きし、その内容をスタッフに報告し反映できるようにしている。</p>	<p>普段の関わりで利用者の要望を確認し、家族には介護計画作成時や面会時などで意見や要望を確認している。自宅への帰宅を行い馴染みの時間が持てたことや、裁縫をしていた方に園全体で行うお針子クラブに参加し裁縫が継続できるなど要望に応える支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回の考課面談と年1回の個人面談を通して意見や提案を聞く機会がある。また、日ごろ気づいた事はその都度聞く様にリーダー等は心掛けている。反映については全てが反映出来ている訳ではないのが現状。	事務局長と施設長にての面談、ユニットごとでも個別に面談の機会を設け職員の意向や思いを確認し、日々の業務での関わりを通じ管理者やユニットリーダーへ意見を上げやすい職場環境が築かれている。職員の声から休憩時間の見直しや希望休も取りやすくなるなど意見の反映がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談時にスタッフそれぞれが頑張った事やここが良かったと伝える事で、スタッフの方から、また頑張ろうと思える気持ちになってもらえる。面談以外にも、日ごろから気づいた事等は、その都度伝える様にし、意欲を持って関わってもらえるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	園内研修・外部研修を通じ学ぶ機会は多くあるが、内部研修に関しては、自主参加になるので、なかなか参加されない方もおられる。必要と思われる研修については個人的に声を掛けたりするが、参加者は増えない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他の施設に見学に行き、お互いの意見交換を行ったりしている。その他には、認知症ケア勉強会や介護技術勉強会もあり、これについては外部の人の参加もある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面談を始め、本人様としっかりと話をし、本人様が話されている時は、しっかりとお聞きし、不安なお気持ちがあっても和らぐようにスタッフ皆で協力して関わりを持ち、関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前面談を始め、家族様からも現状で困られている事や、不安な事・要望等をお聞きし、家族様との関係も気づけるようにスタッフ皆で協力し、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族様からお聞きした内容と本人様の状態などを見ながら、その時に必要と思われる支援が出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	同じ目線で話をしたり、一緒に買い物へ行ったり、珈琲を飲んだり、洗濯物を干したり畳んだり等々、家事全般等をスタッフと一緒にやる様にし、介護される一方的な立場にならないように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様との絆を大切にし、本人様を家族様とスタッフが一緒になって支えられるような関係作りを心掛けている。その他に家族様の自宅に行き、スタッフ・家族様・本人様と一緒に時間を共有する事もある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みのスーパーや美容院を始め、本人様がこれまで築かれた関係をなるべく途切れないよに関わりを持つようになっている。	自宅へ帰ることや以前に通われていたコーラスサークルに月2回通う支援を行っている。発表会にも参加することができたこと、家族の付添のもと民謡教室に通うことやスイミングに出向き友人と一緒にするなど利用者の満足に繋がる様々な取り組みを行っている。	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お一人でポツンとおられる事のない様に、他の入居者様が居られる席にお連れしたり、ソファに座って頂いたり、時にはスタッフが会話をかけ橋したりするなどしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	グリーフケアのあり方について話をしたこともあるが、継続して関わっていないのが現状。その一つとして、亡くなってから1年目位を目安に家族様に許可を頂き仏壇を拝ませて頂いている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いを大切にという事はスタッフ皆に周知出来ている。ご本人様から話をお聞きする事が難しくなった時は、家族様からお話をお聞きしたりし、ご本人様本位の考えで考える様にしている。	担当職員が深く関わりを持ち本人の思いなど把握に努めている。日常の会話から「利用者との印象に残る言葉」を『ほっこり一言』に記録し、利用者が生活の中で何を感じているかを職員も触れ活動に繋げている。意向から好きなカラオケをプランに挙げ、故郷に帰る外出を計画したりと実践がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	スタッフそれぞれで、継続的にその方を知る為に、情報収集に努め、本人様に合ったサービスを提供できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	可能な限り、本人様の意思を尊重した関わりを持つように努め、日々の状態については申し送り等でスタッフに伝えるようにしている。また、1日の過ごし方については、本人様とお話したりする中で考え、行動するように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者を中心に本人様に必要なニーズの把握に努めている。この9月から、ユニット会議内で、モニタリングをスタッフ皆で行う事になり、新たな発見などもある。</p>	<p>担当職員がアセスメントシートにて利用者の状況や意向など詳しく把握に努め、それを基にユニット会議の内容も反映させながらケアプランを作成している。モニタリングはユニット会議で全員で振り返りを行うことをこの9月から始めた。全員で見直し意見交換を行うことで次に活かせるものへとなっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活状況記録やほのぼのを活用し、情報の共有が出来る様にしている。また、小さな事でも記録する事で見直しにもつながる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>受診などは本来家族様対応だが、急な受診などは対応が難しい場合に限ってスタッフが対応するようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事にお連れする。地域のスパーにお連れする。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科に関しては囑託医になってしまう事が多い。他の科は希望に合わせて家族様の方で対応をして頂いている。</p>	<p>希望により今までのかかりつけ医に通うことは可能である。協力医により週1回の往診があり、夜間や緊急時の対応にも安心できることから協力医を選ぶ利用者が多くある。歯科や皮膚科の往診も定期的であり、看護師も常駐していることから適切な医療を受けられる環境にて安心できる支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の関わりの中で小さな事でも気づいたら看護師に報告する事で、対応してもらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院期間中も、その方との関係が途切れない様に、面会に行くなどしている。病院関係者との関係については、主に管理者が行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>終末期に入る時には、家族様からの思いを再度お聞きし、スタッフからも意見を聞き、看取り計画書を作成し、家族様にしっかりと説明を行い、支援をしている。</p>	<p>入居時に重度化に関する指針、看取りについて説明している。事業所は可能な限り終末期の対応を行う方針であり、家族から最後までを希望され信頼も厚くある。家族の意向や思いをしっかりと汲み、看護師や医療との連携により思いに添った支援がなされている。毎年研修を行い支援の向上に努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>ノロウイルスの対応については、毎年シュミレーションを行っている。その他に、各階に設置してあるマニュアルを読んだりしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>防災訓練を定期的に行っている。昨年度からは、代表者を中心に防災について力を入れている。</p>	<p>年3回併設の事業所と合同で避難訓練をし、毎回夜間想定した取り組みを行い職員の周知を図っている。年1回は地域住民と協力して実施し防災の意識を高めている。「避難時に歩行で避難できる方」「車椅子対応の方」を明確にし、色分けした付箋を事業所図に貼り即座の対応を可能にした独自の工夫がみられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉遣いには注意しているが、時に馴れ馴れしい言葉遣いになってしまっている時もある。一人一人の性格や人格を分かった上で優しい声かけを行う様にしてしている。	理念を基に人として尊重し敬意をもって関わることを意識し実践している。毎年全体会議で研修を行い、内容も人格の尊重と言葉遣いを意識してスキルアップを図っている。日々の職員間での排泄の情報交換でもイニシャルを使用し個人的な話とならない配慮を行い実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人様がしたい事を普段の会話から引き出せるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	外出が好きな人・料理が好きな人・テレビを見るのが好きな人・音楽を聴くのが好きな人、お一人お一人違うので、本人様のペースに合わせた関わりを持てるように常に意識をしながら関わりを持っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自分で出来る方については、声かけ等で自分でして頂くように支援し、自分では難しい方については、ホットタオルで顔を拭いたり、口腔スポンジで口の中を綺麗にしたりと、1人1人に合わせた関わりで身だしなみを整えられるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べるだけでなく、準備の段階から出来る方には手伝って頂き、調理を行っている。普通食が難しくなってきた方については、その方に合わせて食事形態を変え、本人様が安心して美味しく食べて頂ける様に努めている。	その日に今日は何を食べるかを利用者と検討し食材の買い出しから始まる。利用者がキッチンに立ち食事の準備を行い、刺身など好みの食材の料理が食卓に並び日常の生活感が色濃く感じられる。おやつの手作りや近隣の喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり外食を行うなども取り入れ利用者が楽しめる支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>お一人お一人に合わせた食事量や水分量をスタッフが把握し、提供できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後ではないが、一人一人に合わせた対応をしている。現在、歯磨き粉を使用している方が居られるが、うがいが難しくなってきたので、スタッフと話し合いながらどの方法がいいのか模索中。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>お一人お一人の排泄状況を生活状況記録などを基に、本人様が失敗される事なく、なるべくトイレで排泄出来る様に声かけや誘導を行っている。</p>	<p>併設事業所と合同でトイレ委員会を設け、「自然排便」をキーワードに個々に排泄の目標を作成し個別支援を行っている。この10月から委員会で「すっきりまつり」という企画を展開し、グループホームでは食事面から検討し、「甘酒ヨーグルトを飲む」ことで排泄がすっきりできるよう試みている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎朝牛乳を飲んで頂く以外にも、食事の中にお通じにいい物を食べて頂く等の取り組みを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>1週間に2回入って頂ける様に支援しているが、入りたくない方もおられ入浴方法をどうしたらいいのか悩んでいる部分もある。</p>	<p>週2回を目途に午後から1日3名程度の人数としてゆとりをもって会話を十分に交えながら楽しい入浴となるよう実践している。定期的にゆず湯を行ったり、併設事業所の青森ひばのお風呂に入りに行くイベントを行い気分を変えながら楽しめるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご本人様の様子に合わせて声かけを行う様に努めている。また、それぞれの身体状況に合わせてお昼寝をして頂いたりしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬ファイルが各ユニット毎に保管されており、もし分からない事があればすぐに確認できるようにしている。また、服薬介助時に服用ミスを防ぐ為に、3回確認を行う様に心掛けている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その方の今できる事を把握し、その力が発揮出来る様な支援に努めている。また、散歩や買い物以外にも、本人様の行きたい所へ外出支援などもしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>スタッフだけでなく、家族様にも協力して頂きながら、本人様が外出出来る様に努めている。</p>	<p>毎日の食材の買い出しや天候の良い時は極力散歩に出かけている。毎年冬には市内のイルミネーションが恒例となっているほか、花見、紅葉狩りで宮島に行くなどの行事やデパートでの水彩画や生け花展を見に行ったり、駅の再開発の様子を見に行くなど個別に喜べる支援も行うなど豊富な取り組みがある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>本に様のお小遣いに関しては、事務所で管理している。希望のある方は、家族様の承諾を得たうえで居室内に現金を置いている事があるが、トラブルになる事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(えんどう豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>スタッフが、電話をかけ本人様に話して頂けるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家庭らしい雰囲気を大切にしている。また、季節の花を生けたりしている。朝日が眩しい時等は、カーテンをし刺激が少なくなるように努めている。</p>	<p>花がきれいに飾られ季節感があり、ソファを増やし過ごしやすくするなどインテリアや装飾など「家」を意識し環境を整え家庭的な雰囲気がある。柴犬を飼いユニット間中央にゲージでふれあえるようにしており、すぐ奥の広いベランダでは野菜や花を栽培し収穫するなど生活のアクセントになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>必要に応じて席替えをしたりする。リビングから少し離れた所にソファを置き座って頂けるように工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に使い慣れた物をなるべく持って来て頂きたいと家族様に説明をし持って来て頂く様にしているが、新たらしく購入された物を持って来られる方も少なくない。</p>	<p>入居前に職員が自宅に訪問し、家や部屋などの生活や環境を把握し、馴染みのものを持参してもらい入居後の居室が個人に馴染めるように整えられている。作品や写真などそれぞれに彩られ、本人のものが目に入ることで安心でき落ち着いて過ごせるような設えとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>4階では、移動の制限を行う事はせず、本人様が行きたい所に行けるようにしている。ただし、EVで1階に降りようとされている時は、スタッフも付き添う。これまでに何度も入居者様だけで1階におりておられた事もあるので、常に所在確認や見守りを行う様になっている。</p>		

V アウトカム項目(えんどう豆)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	全体研修にて勉強会を開催、自分や自分の大切な人が暮らしたいと思える場所作りに努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々、地域への買物や府中町GH連絡会活動（認知症カフェ、鶴江100歳体操、つる縁キッチン）にお連れし、交流の場としている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	府中町GH連絡会での取り組み（認知症カフェ等）や認知症サポーター養成講座にて地域へ発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	府中みどり園の取り組みや事故、その対策等の報告と行い、地域の方々と意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町や社協の開催する行事に参加。そしてGH連絡会を通じての関わりにも関係者に参加いただいている。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	居室ドアや日中の玄関の施錠は行っていない。また、月に一回、身体拘束廃止委員会を開催している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待について全体会議にて勉強会を行い、認識を広げ予防に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関して全体会議にて勉強会を行い、認識を広げ予防に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者、リーダーが行っている。説明に際して疑問に思われること、気になることを都度お聞きし確認している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会の際に話を伺う。また、意見箱の設置にて要望、意見収集に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日常的な関わり、ユニット会議での意見交換を行い検討のうえ反映に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	日々の目標設定と振り返りを行い個々の職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	園外研修と報告会、園内研修、資格取得のための勉強会を実施している。チューター制度、委員会によるOJTの実施。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	GH連絡会にて交流会、職員同士の交換研修、認知症カフェの実施等を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面談、訪問での聞き取りにて要望を捉える。本人様の生活歴を大切にし入居後も信頼を得られる関係性作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人様同様、入居前面談にて聞き取り、関わりを通して信頼関係を構築する。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談、本人様やご家族との関わりの中、どのような生活をされていて、どのような対応が必要かを見極めるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	理念に沿い「もしも自分だったら」を念頭に、互いを一人の人として尊重し関わられるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	年に2回の家族会に実施等、ご家族を交えた行事、ご自宅へお連れするなど互いに関係性を保てるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご自宅へもお連れする、通いなれた店に行く、ご友人と通われていたスイミングへ出向く等、生活歴や本人様の想いを尊重した支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>各入居者の関係性の把握をし、一人ひとりのお気持ちに寄り添いながら周囲との交流が出来るよう努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>ご家族へのグリーフケアの一環としてお手紙を送らせて頂いた。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者の様子や発する言葉に注視する、またそれをユニット会議や日々の業務内で職員と共有し、お気持ちに沿えるよう努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>面談をはじめ、本人様及びご家族への聞き取りのなかで情報を常に得ようとする、また、得られた情報をチームとして共有するよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入居者の日々の状況を見ること、会議や日常業務内の情報交換にて現状を共有する。</p>		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ユニット会議での意見交換、担当スタッフのアセスメントを元に本人様、ご家族、その他関係専門職の意見を反映した計画書の作成に努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケース記録、さらに必要事項を連絡ノートや申し送りとして挙げる。またそれを計画書にも反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>地域との関わりや行事に参加する等、既存の入所サービスに囚われない関わりを実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域ボランティアの協力、GH連絡会行事、地域行事への参加等行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>嘱託医の定期往診実施の他、入居初期とご希望時、ご家族と医師の面談の機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師との日々の連絡、処置や緊急対応の要請を行っている。介護計画作成に関しても医療的視点から意見を求めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者、リーダーを中心に行っている。また、その他スタッフについても入院されている入居者のもとへ面会に行かせていただくこともある。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時の他、介護計画更新の都度、その時点での思いを伺っている。終末期を迎えた場合にはご家族、看護師も交え支援の計画を立てている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	連絡系統の周知、急変時の対応の周知を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災委員会を中心とした定期的な施設内の避難訓練の実施。また、年に一回の近隣住民協力の合同避難訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	理念を元に「介護する人」「介護される人」ではなく、人として尊重し敬意を持って関わるよう心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の関わりの中からのアセスメント、その思いを尊重できるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の目標設定の実施、振り返りを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な限りご自身で服を選んで頂く、鏡の前で整容していただくよう支援する。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	買物にお連れし、食べたい物や旬な物を選んで頂いたり、一緒に料理や片付けをしていただくことで食事を楽しんで頂けるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>好みのメニューや飲み物を把握したうえで、都度ご希望を伺う。買い物にお連れし選んで頂くよう意欲向上を意識した関わりを行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>お一人おひとりの機能に応じて全入居者の口腔ケアを行っている。入居者によっては合わせて定期で歯科往診を受けられている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレ委員会を中心に、入居者一人ひとりに排泄に関する個別の目標を設定、支援を行っている。生活状況記録等を使い、各入居者の排泄ペース、量の把握を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>各入居者の排便の状況を把握し、朝食前に牛乳を飲んでいただく等、自然な形での排泄を促し、薬だけに頼らない取り組みをしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間帯やタイミングがスタッフ主体になっている現状がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>元々の習慣や、その日その時の 体調や気分を汲み取り必要な休 息をとっていただいている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>ユニットに薬のファイルを置き スタッフへ情報の周知。服薬の 方法も本人様の嚥下状態や心身 の状態にて個別対応を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>日々の生活の中で趣味活動、 家事活動等の様々な方法で役 割、楽しみごとを持って頂ける よう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>毎日の食材の買い出しや、散 歩、地域行事への参加、季節ご との外出等を行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>基本的には預り金として管理 されており、入居者自身が支払 いを行うことへの支援という観 点で課題がある。一部の入居 者は本人様希望、ご家族に 了承のうえ自身で金銭を持た れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(そら豆)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>一部入居者は個人の携帯電話を持たれ、ご家族へ連絡をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>生活環境として“家”を意識したインテリア、飾り物を使っている。施設然とした雰囲気、環境にならないよう配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間の中でも、ゆっくり過ごせるようソファの配置やテレビが見たい方への席場の配慮等、各々個性に応じた支援している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者本人様の馴染みの家具や、思い出の品をお持ちいただけるようご家族へお願いしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>生活全般において、見守りのもとなるべくご自身で行っていただけるよう支援に努めている。</p>		

V アウトカム項目(そら豆)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム府中みどり園

作成日 令和2年2月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	言葉遣いには注意しているが、時に馴れなれない言葉遣いになっている。	理念を基に人として尊重し敬意、全職員が常に丁寧な言葉遣いが出来るようになる。	毎月のユニット会議にて言葉遣いの振り返りを実施する。	1年
2	10	家族様が、健康面、医療面、安全面について不安な点を感じておられる。	家族様の健康面、医療面、安全面での不安を解消する。	面会時には看護師に連絡し、日常的に医療に関して話を伺う場を増やす。カンファレンスに看護師も同席する。	1年
3	4	運営推進会議に参加されていない家族様が『事故・ヒヤリや苦情』の運営状況の把握ができない。	全家族様が『事故・ヒヤリや苦情』の運営状況が把握できるようになる。	運営推進会議の会議議事録に『事故・ヒヤリや苦情』の運営状況を記載する。	1年
4	22	サービス終了後の家族様への関わりが弱い。	グリーフケアの実施。	命日に手紙を送る。家族交流会へ亡くなられた家族様をお誘いする。担当スタッフがほっこり言葉と写真のアルバムを作成し送る。	1年
5	13	内部研修の機会はあるが、参加者が限られている。	内部研修を活用し職員を育てる。	認知症ケア勉強会、介護技術勉強会、研修報告会、介護福祉士勉強会などへの勉強会参加を積極的に促していく。	1年
6	17	入居者様より夜にお風呂に入りたい希望があるが、スタッフ都合にて日中にお風呂に入られている。	夜にお風呂へ入れる日を作る。	スタッフの勤務時間を調整し、夜間入浴の機会を作る。	1年
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。